

公明党 横浜市会ニュース

第47号

民衆の声
ボイス

VOICEよこはま

公明党横浜市会議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

5月中旬から スタート 定額給付金

(子育て応援特別手当)

5月中旬から
申請開始

(定額給付金)

**一人当たり1万2000円、
65歳以上、18歳以下は2万円を給付**

家計への緊急支援と消費喚起による地域経済活性化をめざす「定額給付金」。横浜市では、いよいよ5月中旬から申請手続きが始まります。

対象者は、今年2月1日(基準日)現在、住民基本台帳に記録されている方、外国人登録されている方です。給付金は原則として、世帯主が世帯全員分をまとめて受け取ります。



※第2子の判定は、18歳以下の子ども（具体的には生年月日が1990年4月2日以後の子ども）の中から年齢順に第1子、第2子と数えます。

※横浜市から対象の世帯主に申請書が郵送されます。

子育て応援特別手当 専用ダイヤル
045-664-3247 8:45~17:15 [土・日・祝日を除く] 7月末日まで開設予定

5月中旬から、住民基本台帳に記録されている方、外国人登録されている方です。給付金は原則として、世帯主が世帯全員分をまとめて受け取ります。



定額給付金 専用ダイヤル
045-330-7222 9:00~18:00 [毎日] 11月中旬頃まで開設予定

手続きの流れ
〔両制度〕

④受給
※横浜市から給付のお知らせが郵送され、指定の口座に振り込まれます。
※定額給付金については、口座振り込みが困難な場合に限り、8月下旬から区役所窓口で申請し、現金給付される予定です。

③申請書を返送
※世帯本人の確認書類（免許証など）と通帳などのコピーを同封します。

②申請書に必要事項を記入
※世帯主が代表して世帯全員分を申請。
※振り込みを希望する指定の口座を記入します。

①5月中旬に世帯主へ申請書が郵送される
※定額給付金と子育て応援特別手当は別封筒です。

横浜市 平成21年度予算

市民の生活を守る公明党!

平成21年度の予算に皆様の声が数多く反映されました

【あんしん社会の実現へ】

**◆介護支援ボランティア
ポイント事業を開始**

介護予防や生きがいづくりを推進するため、65歳以上の高齢者が介護保険施設などでボランティア活動を行った場合、活動の実績を「ポイント」とし換金できる制度が始まります。



エコで得する 横浜環境ポイントが スタート!

家庭で節約した電気・ガス量を、CO₂排出量の削減効果としてポイントに交換する「横浜環境ポイント」の社会実験が始まります。貯めたポイントは商品割引などの特典として交換できます。目に見えない環境貢献の価値を「見える化」して家庭での省エネ行動を推進します。

横浜市コールセンター
~便利な暮らしの情報ガイド~
Tel.664-2525 Fax.664-2828
●時間/8:00~21:00(土・日・祝日を含む毎日)
●Eメール/callcenter@city.yokohama.jp

◆障害者将来にわたるあんしんを

障害者やその家族の方々が、現在から将来にわたり安心と希望を持つて生活できるよう、「横浜市障害者プラン(第2期)」において、「将来にわたるあんしん施策」が策定されます。この施策は、①親亡き後の生活の安心 ②障害者の高齢化・重度化への対応 ③地域生活のためのきめ細かな対応を柱としています。後見的支援、住まいの場、医療・受診環境の充実など、障害者のきめ細かなニーズに対応できる具体策を平成21年度に検討し、平成22年度から開始されます。

◆福祉人材を確保

ホームペルパー2級研修を受講し、市内の福祉施設などに就職した横浜市民を対象に、受講料の半額(上限4万円)が助成されます(住民税非課税世帯の方などは全額を助成)。

また、福祉施設などの求人情報を横浜市ホームページで提供したり、就職した福祉人材が定着するための福祉施設に対する支援が実施されます。

◆小中一貫教育を推進

平成24年度を目指し、小中一貫教育の全市展開を推進します。現在の中学校区を基本として「小中一貫教育推進プログラム」を設定し、小中学校の教職員の交流を促進したり、児童生徒が授業や行事、部活動などの交流を通じ、学力向上や指導の充実が図られます。

◆子どもの事故予防に全力

不慮の事故が子どもの死亡原因の上位を占めている中、子どもの事故予防に関する情報を広く周知し、保護者の関心をより高めていくため、リーフレットが配布されます。また、子どもの事故予防のポータルサイトの開設が予定されています。



【日々の生活を守ります】

知つ得情報

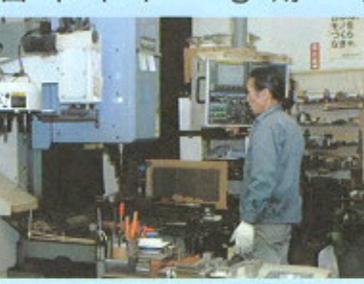
【中小企業を応援します】

◆融資制度が拡充

月々の借入金返済の負担軽減を図る「緊急借換支援資金」(金利1.8%以内、返済期間10年以内)の保証料を助成し、0.8%から0.6%に軽減されます。また、無料で職業を紹介する「ジョブマッチング」は「ま」事業と連携し、新たに雇用する企業を対象とする「緊急雇用対策資金」(金利1.9%以内、1/4の保証料助成)が創設されます。

◆融資制度の金利引き下げ

①横浜市中小企業融資制度の「振興資金」と「小規模企業資金」の利率が下がります。(融資期間5年以内のものは0.2%、5年超のものは0.3%の引下げ)
②ISOなど環境マネジメントシステムの認証取得や、省エネルギー設備の導入などをを行う市内中小企業を支援する「環境経営支援資金」について、地元3行(横浜銀行、神奈川銀行、横浜信用金庫)との連携により金利が優遇(最大0.3%)されます。



○お問い合わせ〈経済観光局 金融課〉
電話(671)2592

◆ワシントップ経営相談窓口

創業・経営革新への取り組みにおける課題解決のため、センタースタッフや各分野の専門家がアドバイスします。
○お問い合わせ〈横浜市中小企業支援センター 経営支援課〉
電話(2225)3711

◆新型インフルエンザ対策が前進

医療機関や保健所などへの医療資機材の整備をすすめ、「横浜市業務継続計画(BCP)」や区ごとの行動計画が策定されます。

◆消費生活総合センターの相談時間を延長

生活に困窮している方に対し、就労支援などをを行う「地域日常生活自立支援事業」が全区で実施されます。

**◆市営バスの暫定運行路線を
営業路線化**

平成21年4月に廃止または一部廃止の予定だった8つのバス路線が、営業路線として運行されることになりました。
(68、79、201、290、291、292、293、294系統)



[河川沿い道路の活用について]
散歩やサイクリングを楽しむほか、中途障害になつた方々のリハビリの場など、利用者の視点での、恩田川などの河川沿いに安全で快適な散歩道や自転車道などの整備の必要性を求めました。

道路局長は「河川沿いの道は、車も通らず安全で、生活に潤いを与えてくれる大切な道の役割を果たしているとの認識を示し、道路整備と治水と環境政策を連携させ、河川沿いの道路を市民にとって

[若者の自立支援について]
急激な雇用環境の悪化が若者を直撃している現状に言及し、「一ートや引きこもりの若者の職業的な自立を支援する「よこはま若者サポートステーション」の増設と就労相談の拡充を求めました。

中田宏市長は、「国の「ふるさと雇用再生特別給付金」を活用する形でキャリアカウンセラーなどを雇用し、就労相談の拡充を図るとともに、国が進めている地域若者サポートステーションの増設も働きかけたい」と答えました。また、青少年の自立支援にかかる市民ボランティアの育成については、市長は

本会議の予算審議から



公明党横浜市会議員団
政務調査会事務局長

高橋 正治

平成21年横浜市会 第1回定例会

「ネットワークを形成しながら体制を構築していく」と答えました。

【医療と介護の連携について】

今後、医療的ケアを必要とする要介護高齢の増加が予想されます。在宅サービスや施設サービスの充実とともに、医療と介護の連携が重要となります。また、特別養護老人ホームの入所を希望しても、医療的ケアが必要なために入所できない場合があります。そこで、医療的ケアの改善の必要性を求めました。



市長は「在宅療養連携推進

検討会において、医療・看護・介護などの関係者の連携強化の方策について検討を進め、また特別養護老人ホームの整備においては、医療的ケアの必要な方の入所を誘導できるよう検討していく」と答えました。

予算特別委員会の審議から

[河川沿い道路の活用について]
快適な散策路や自転車道などに改良する施策を積極的に検討していく」と答えました。

また、生活道路にある小さな踏切の改良については、局長は「今後計画を策定する中で整備の検討を進める」と答えました。



横浜開港150周年記念テーマイベント開催

本年6月2日、横浜は開港150周年を迎えます。安政6(1859)年の開港以来、世界への窓口として栄え、国内外から様々な人や物、文化が横浜に集まりました。写真やアイスクリーム、ガス灯、鉄道など横浜発祥のものは数多くあります。こうした横浜の先達が築いた歴史に学ぶとともに、未来や国際性を体感するテーマイベント「開国博Y150」が153日間にわたって行われます。

◎お問い合わせ(Y150コールセンター)電話(414)0103



巨大生物マシンや映像技術を駆使したショーなど
■ペイサイドエリア
(みなとみらい21新港地区周辺)
4月28日(火)~9月27日(日)



市民スタッフが中心となって創っていく
■ヒルサイドエリア
(よこはま動物園ズーラシア隣接地区)
7月4日(土)~9月27日(日)

市民相談

お気軽に何でも
ご相談下さい

横浜市会議員(緑区選出) TEL.929-5305 FAX.931-8798
高橋まさはる <http://www.masaharu.info/>